

北陸地区 きときと会(富山県) 歩こう会活動報告

昨年は、住み慣れた富山の街を歩きながら歴史、エピソード等を再発見しようと、地元ガイドさんの誘導案内で、安田善次郎記念部屋室～神通川船橋～富山城址公園(郷土博物館)～越中反魂丹・池田安兵衛商店を散策しました。

今年度は昨年、時間の都合で行けなかった梅沢町寺院群を、10月23日(月)に参加者11人(男5人女6人)で「続・富山市街地の再発見」と題して寺院群のエピソードなど聞きながら散策しました。

梅沢町寺院群は、江戸時代に前田家が富山城下南面の防備の為、約60の寺院を集めて寺町を形成し、現在も40余りの寺院群となっています。中には野球少年がホームラン祈願に来るバットを持った地藏尊像もありました。



昨年の写真

